

教室掲示
お願いします

SSH 通信

第10号
平成30年2月23日発行
編集：Ⅱ年5組SS委員

韓国訪日研修

1月10・11日に韓国訪日研修が行われ、高ⅡSSクラス40名とホームステイ受入れの高Ⅰ・Ⅱ生4名が、韓国の天安中央高校の生徒と共に実験・議論・ポスター発表などをしました。また、ホームステイなどを通して国際交流を行いました。

日程

◎1日目(1/10、水曜日、広島大学附属高等学校)

- ・歓迎会
- ・大学の先生による講義
- ・実験(生物・化学)
- ・実験についての議論
- ・ホームステイ

◎2日目(1/11、木曜日、広島大学附属高等学校)

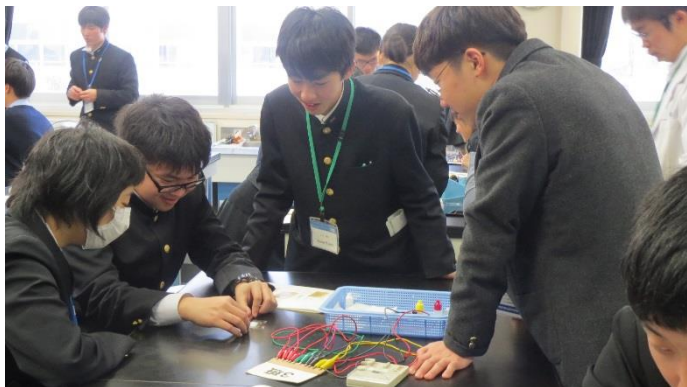
- ・ポスターの準備・発表
- ・2日間のまとめ

1日目

1. 太陽エネルギーの学習

1日目は韓国の生徒と今回の研修のテーマである太陽エネルギーについての講義・実験・議論が行われました。

最初に岡山大学の渡辺先生の講義を聞きました。今回の研修は7月に韓国で行われた韓国研修の続きであるので、主にそのときの復習といった形で行われました。その後2チームに分かれ生物の実験と化学の実験を交互に行いました。生物分野の実験は光合成色素に関するもので、化学分野の実験はDSSC(色素増感太陽電池)に関するものでした。どちらもこれからの社会において重要で興味深かった一方、天候にあまり恵まれなかったのが残念でした。



その後、実験の結果を踏まえ2日目のポスター発表に向けた議論を行いました。太陽エネルギーにつ

いて詳しくなると同時に韓国の生徒と英語でコミュニケーションをとることで英語能力を高めることもできました。



2. ホームステイ

学校が終わった後は待ちに待ったホームステイ！今回の研修の醍醐味と言っても過言ではありません。何人かでグループになってボウリングやカラオケ、買い物などを楽しみ、たくさんのお土産とともに帰宅しました。慣れない環境で不安もあったと思いますが韓国の生徒は持ち前のハングリーさで日本の文化に触れよう触れようとしていました。私たちも夏に受けたご厚意の恩返しとして、できうる限りのもてなしをし、和やかな晚餐ができました。

2日目

1. ポスター準備

午前中はプレゼンテーションの準備を行いました。この日は初日に作り上げた内容に修正を加え、実際にプレゼンの練習が中心になりました。普段から、科学英語表現の授業でプレゼンのイロハを学習している5組の生徒をよそに、韓国の生徒はまるで何の苦労もないかのように淡々と英語を話していました。思考の柔軟さに驚きつつ、私たち5組の生徒も負けじと必死になって練習しました。



2. 日韓共同プレゼンテーション

～ How can we make

good use of solar energy? ～

1日目と朝の準備を通して練り上げたポスターを発表しました。テーマは【How can we make good use of solar energy?】です。まず、前半10グループが9分ごとに発表し、お昼を挟んで後半10グループが発表しました。夏の韓国研修と今回を踏まえて各グループとても独創的なポスターを作成し、テーマに関する相互理解を深め、国を超えて熱い議論を交わすことができました。言いたいことが十分に伝わらないとき、ついつい母国語を使ってしまう場面もありましたが（本当は英語でのプレゼンです笑）、先生方の講義、実験のおかげもあり、なかなか現実味のある提案も多く充実した時間を過ごせました。



3. そして、お別れの時……

名残惜しくもお別れの時間になりました。今回の訪日研修では夏の韓国研修の時にペアだった韓国の生徒もいれば今回が初めての生徒もいました。みんな笑顔で写真を撮りながら両者両国での思い出を胸に、韓国の生徒を乗せたバスは学校を後にしました。

★日韓合同事業★～まとめ～

広島大学附属高等学校、天安中央高等学校

夏と冬の日韓合同事業としては【再生可能エネルギー】である太陽エネルギーに焦点を当て、持続可能な社会の形成に向けた議論を世界の高校生生の視点から行いました。

太陽エネルギーについて、最先端の技術と世界の現状について一通り学習し、長所短所をうまく扱いながら自分たちなりの提案をすることができました。特に、ただ思ったことを述べるのではなく、太陽エネルギーを利用するにあたっての【評価基準】を設定し、より現実的な論点で討議を進めることができました。

しかし特筆すべきはこの事業の【テーマ】ではなく【テーマへの取り組み方】にあります。4人ごと（日本人2人、韓国人2人）のグループ活動であり、少人数での国を超えた討議が可能であったため、自分の意見をいかに相手に論理的にわかりやすく伝えるかが求められ、今までのSSH事業で培ってきたあらゆる能力が問われました。特にグループで1つのプレゼンを準備し発表した今回の訪日研修では、異文化交流を前提とした合意形成に難しさがあったと思います。国はもちろん、人が変わるだけでも意見は様々です。それらを踏まえて合意形成を図るには、個々人に【確かなコミュニケーション力とリーダーシップ】が必要です。即ち、グローバルリーダーに必要な力を問われるのです。

夏と冬の研修を通して、上記のような能力を養ってきました。これからもそれらを耕しつつ、様々な場面で活躍できるよう努力していこうと思います。



■ 感想 ■

- ・韓国の生徒はみんな賢いなあ……
- ・異文化交流のいい機会！
- ・興味深い実験もたくさんあった！
- ・韓国語いくつか覚えた！
- ・国を超えた人とのつながりができた！
- ・今でも連絡取り合っています！

■ 編集後記 ■

5組にいるからこそできる体験ということで、異文化交流を経て自分たちの国際性やプレゼンスキルが磨かれていくのを肌で感じることができる、いい時間を過ごせたと思います。韓国の生徒の皆さん、ほんとうにありがとうございます！そしてこれからもよろしくお願いします！（藤岡、山田）